



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
森井 直治

日本の社会インフラの補修・補強及び耐震性向上に寄与

デーロス・ジャパンは社会インフラの維持補修や補強を専門に行う会社であり、これまで社会インフラの補修等に寄与してきました。現在、電柱や電車の支柱等は耐震化されていないものがほとんどであり、万一地震が発生すれば、重大な被害を受けることになります。そこで当社が、新たなFRC材を開発し、耐震性の高い社会インフラを実現することで、社会や国民により一層貢献していきたいと考えております。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年の売上高達成に向け、補強材製造を行うことで堅実な成長とともに製品販売で年率15%程度の成長を目指す。

課題

- ・生産性の確保が可能か
- ・品質確保のためにどのような設備が必要か
- ・FRC製造時に必要な引張設備の開発

売上高100億円実現に向けた具体的措置

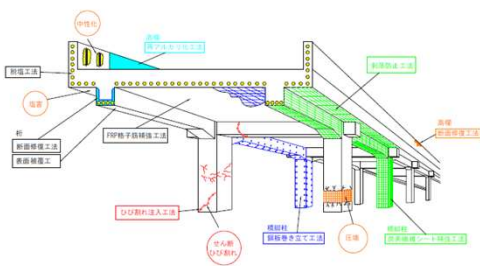
目指す成長手段

- ・FRC材開発のため、設備投資による生産体制開始、国内の電柱補強事業の展開
 - ・補強効果のための実験施設の整備
 - ・品質確保のための設備投資
- 本製品は他社にはない製品であり、設備投資によって、開発が実現でき、社会インフラ耐震性の強化に寄与できる。

実施体制

- ・社長直轄でのFRC開発製造課の立ち上げと関連する会社との協力体制と大学との協力体制の確立を行っていきます。
- ・電力会社との共同開発による確実な開発体制の確立
- ・鉄道会社との共同開発による確実な開発体制の確立

適用例

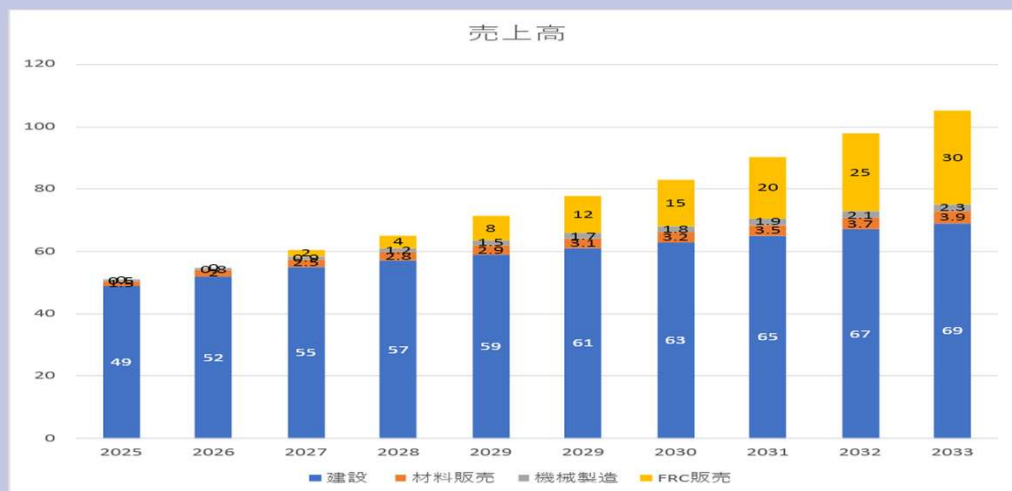
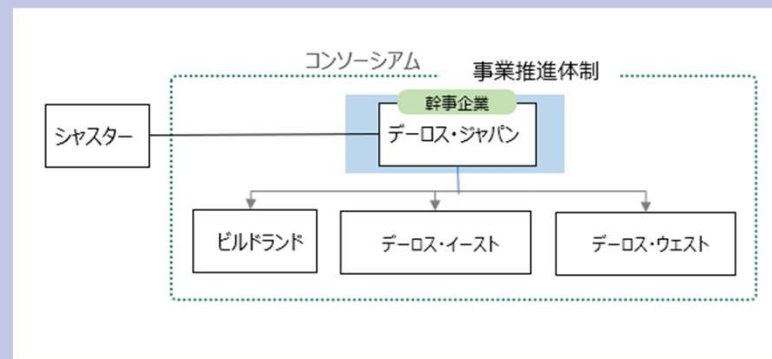


- 本社所在地：・・・石川県金沢市
- 事業概要：・・・社会インフラの維持補修及び材料開発と製造
産業機械開発製造
- 常時使用する従業員：131名
- グループ全体（2024年9月期）
- 現在の売上高：51億円
- グループ全体（2024年9月期）
- 法人番号：2220001003135
- Web：https://www.deros-japan.co.jp/

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

（売上高100億円実現の目標と課題）

- FRCとは、繊維補強コンクリートの事で、合成繊維や鋼繊維等をコンクリートに複合したコンクリート材の事です。既存の鋼管や電柱の修繕の際に炭素繊維等を使用して補強しておりましたが、千葉県での台風による被害や能登地震による電柱の被害で長い間復旧が遅れた国民に多大な影響を及ぼし早期に補強をする必要がある課題が生じました。そこで本事業で独自のFRC袋材を開発いたします。この製品は、鋼管や電柱の中空部に挿入して耐力を回復させることができ、中空部を有する構造物のほぼ全てを修復することができます。また、新世代の高密度ポリエチレン繊維が使われ、施工時の耐屈曲性・耐摩耗性に優れ、無劣化・高強度・高弾性・絶縁性に厳しい環境でも十分な強度と耐久性を発揮する材料となっております。
- 新製品は、試作品を作成して補強効果の確認がとれております。これを生産し、商品化していくためには、大量生産技術の確立確保、品質確保のための特殊な試験装置の開発が必要です。実施体制として、電力会社等との共同開発、技術的な助言のため大学との提携も図って事業に取り組んでまいります。本事業を実施する事で、日本全国にある電柱数百万本の耐震化を図ることができ、売上100億円を達成できると確信しております。

100億
達成

○法人番号：811001033567（株式会社デーロス・イースト）、2260001035469（株式会社デーロス・ウエスト）、3220001010650（株式会社ビルドランド）